

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	雲沢財産区造林保育事業費						
担当課係名	角館地域センター総合窓口課	総務	係	作成者	本田俊彦		
総合計画での位置づけ	施策の大綱	特色ある資源を生かした産業創造のまち			総合計画のページ		
	基本計画	森林の整備と林業の振興					
	主要施策	森林施業の促進			66		
予算費目	雲沢財産区特別会計	2款	総務費	1項	総務管理費	5目	財産管理費
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 19 年度		新規/継続の区分		継続		
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理						
根拠法令等	地方自治法第294条1項						
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務						
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助						

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	雲沢財産区管理会が管理する森林の適正管理
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	間伐等森林の適切な整備及び保全に努め、将来にわたる森林の有する公益的機能の持続的発揮を目指す
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	森林の状態に応じ、計画的に除伐、間伐等の保育を行う

【事務事業の推移】

(単位:千円)

効果	項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
	活動指標	間伐	ha	6.30	5.20	
成果指標						
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)			1,304	1,367	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他		1,071	1,176	
		一般財源		233	191	
	人件費(B)			2,356	2,421	
		職員数		0.3	0.3	
		職員平均人件費		7,853	8,071	
(A)+(B)投下コスト			3,660	3,788		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			580,952	728,462	
	市民1人当たりのコスト(円)			115	121	

【事務事業の今までの成果】

森林国営保険の加入。
 18年度 釜ノ川山地内 6.3haの間伐
 19年度 釜ノ川山地内 5.2haの間伐

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続(実施)	財産区有林の貸付収入及び造林基金を取崩しての事業なので、現状の継続で森林の状況に応じ、計画的に除伐、間伐等の保育を行う
	B 見直しの上で継続(実施)	
	C 大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	森林施業の促進を図るため、良質材の育成、生産を推進する事業の実施は引き続き必要と考える。

